

企業を活かす人材活用
人材が輝く企業の現場

第11回

株式会社パック・エックス

人材の活躍にはコミュニケーションが不可欠 入口の段階でミスマッチを防ぐ意識が大切

長野県内で7店舗を運営する株式会社サンエイでは、約10年前から業界キャリアを持つ中途人材を採用。以来、同制度で入社した10数名のうち、数名しか退職者を出していないという。こうした定着率の高さを支えるのは、中途採用の人材に求める役割を社内全体で共有するコミュニケーションの徹底だ。

サンエイは昭和50年に「パチンコ・ニュー東京」を長野市にオープンし今年で40周年を迎えます。同社が大きく飛躍するきっかけとなったのは平成14年、同社が旗艦店に位置づける「ニュー東京柳原店」のグランドオープンでした。以来、平成24年までの10年間で7店舗を持つ企業にまで成長。中途採用の人材もこの成長を支えました。

中途採用の人材はもちろん、社員全体を見渡しても離職率が非常に低いという同社の強みはどこにあるのでしょうか。

**中途採用の人材に求めるもの
本人、現場にしっかり伝える**

窪田 まず初めに、日頃のお取引ありがとうございます。

また、今回は無理を言って安田社長にも登場していただき、重ねてお礼を申し上げます。

安田 当社に関心を持っていただける方が増えるのならばと思います、お引き受けしました。人材を紹介していただくよ

うになって強く感じたのが、御社をはじめとする人材紹介会社が、当社の要望に見合う人材を選んでくれているということ。入社後も早い時期から一線活躍してもらっ

ています。
窪田 ありがとうございます。ただ、キャリアのある方を中途採用することに対して、現場の反発も強いのではないかと心配もしています。



株式会社サンエイ 代表取締役社長
安田 英哲(やすだ えいてつ)
大学卒業後、遊技場周辺機器メーカー勤務を経て家業である株式会社サンエイに入社。「わたしが主役!わたしがつくる!わたしがサンエイ!」をビジョン、「みんなの毎日を楽しく!~Life is fun~」をミッション、これに加えて行動指針を定めた企業理念の策定に取り組む。2011年に代表取締役社長に就任。趣味は旅行。好きな言葉は「率先垂範」。

けではないですが、お酒をツールとして話し合いの場を作るメンバーが多いですね。私にもなるべくそういう機会を作るようにしています。

小山 人事として心がけているのは、中途採用で入社される方に対して、「当社ではこういう仕事に取り組んでほしい」ということをしっかりとお伝えすることです。一方で、「こういうことをお願いした方がどこの店舗に配属される」ということを全社で共有するようにしています。こうして中途入社の方を採用した理由をお互いに共有することで、入口の部分でのミスマッチが減らせるのではないかと考えています。

安田 企業理念の制定も大きかったと思います。朝礼で唱和するための理念でなく、行動の指針となる理念を作りたいとずっと考えていました。「なぜ行動するのか」に対する共通認識が生まれたことで、コミュニケーションの不全が減り、既存の社員も含め、離職率の低下に繋がっていると感じています。

**成長途上の組織を
一緒に育ててほしい**

窪田 御社では新卒採用も開始されますが、併せて行う中途採用に求めるものは何でしょうか。

安田 一番は即戦力です。ただ当社にはキャリアを持つ方に求めている具体的な仕事があります。プロパーを育てる環境を構築したいのですが、今はまだ道半ばです。まずは今必要としている仕事を遂行すること。そして、その仕事を任せられる人を社内に育ててほしい。大きくこの2点が希望ですね。

小山 当社は企業の組織化を進めている途上です。当初よりは組織化が進みましたが、まだ人が足りません。やって



株式会社パック・エックス 執行役員
窪田 淳二
くぼた じゅんじ
遊技機メーカーの営業職を経て、2005年に株式会社パック・エックスに中途入社。以来10年間転職支援、採用コンサルティングに携わる。2013年に執行役員に就任。現在は全国各地のパチンコホール企業に対し、採用支援を行う。

いただきたい仕事はたくさんあります。こうした成長途上の組織に魅力を感じてもらえる方を求めています。

窪田 中途採用である以上、仕事上の能力が求められるのは当然だと思いますが、その上で人柄の部分で重視している部分はありますか。
安田 重視しているのはリーダーとしての資質です。部下を率いて実績を残しているかどうかは大きな判断材料になります。協調性は自己主張すること初めて成立すると思います。己を抑えてまわりに合わせるのではなく、意見を交えた上で説得して組織を動かしている。そこを上手く調整できる能力がリーダーシップだと思っています。キャリアを持つ中途採用の方は、この能力が高いことが多いように思います。こうした